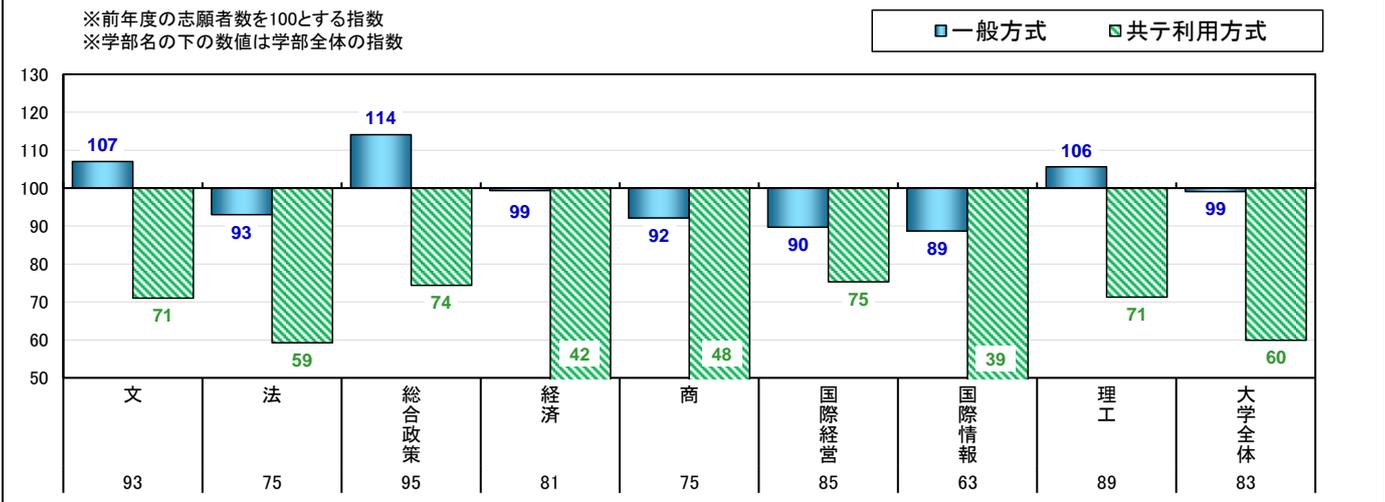


## 中央大：共通テスト利用方式は大幅減少

一般：-405人 共テ：-13,334人



## 主な入試変更点

試験会場変更：全日程…東京、札幌、仙台、さいたま、千葉、新潟、名古屋、大阪、広島、福岡  
→東京、札幌、仙台、さいたま、千葉、名古屋、大阪、福岡  
入学検定料：特例措置（理工および理工以外の〈共テ単独・後期〉を除いた、〈一般〉と〈共テ〉や〈英語外部試験利用〉との併願時の〈一般〉以外の検定料免除）…廃止  
学科名称変更：商（商業・貿易）→商（国際マーケティング）  
英語外部試験：理工〈一般・英語外部試験利用〉…新規

## COMMENT ※（ ）内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では13,739人(83)の大幅減少で3年連続減少。方式別では、一般方式(99)は微減だが3年連続減少。共通テスト利用方式(60)は、上記の「主な入試変更点」に示したように「入学検定料の特例措置」を廃止したことで、前年度も特例措置の対象外であった〈共テ単独・後期〉を除いた方式が大幅減少となり、共通テスト利用方式全体では40%の大幅減少となり、志願者数は2万人を下回った。

## 〈一般方式〉

- 文(107)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加、2016年度より前年度の反動による増減が継続。専攻別では、(人文社会/ドイツ語文学文化)(160)、(人文社会/フランス語文学文化)(160)はいずれも前年度大幅減少の反動で激増。一方で、(人文社会/西洋史学)(75)は大幅減少で3年ぶりの減少。14専攻中9専攻が増加、5専攻が減少。
- 法(93)は、2年連続減少。学科別では、(政治)(79)は前年度減少した反動はなく大幅減少で2年連続減少。(国際企業関係法)(82)は大幅減少で4年連続減少。(法律)(99)は微減だが2年連続減少。
- 総合政策(114)は、3年連続減少の反動で増加。学科別では、(国際政策文化)(125)は3年連続減少の反動で大幅増加し、志願倍率も17倍を上回った。(政策科学)(103)はやや増加で4年ぶりに増加したが、志願倍率は14.4倍と2020年度以前より低倍率に留まった。
- 経済(99)は、前年度やや減少に引き続き微減。学科別では、(公共・環境経済)(146)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(国際経済)(121)は大幅増加で5年連続増加。(経済情報システム)(105)は2年連続減少の反動は小さくやや増加。一方で、(経済)(84)は大幅減少で2年連続減少。
- 商(92)は、前年度増加の反動で減少。学科・コース別では、(フリーメジャー)(102)、(会計/フレックス)(100)は前年度並。他の5学科・コースは減少。特に、(金融/フレックス Plus1)(71)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(経営/フレックス)(85)も2年連続増加の反動で大幅減少。なお、(国際マーケティング)は(商業・貿易)から名称変更したが、前年度の(商業・貿易)との比較では(85)の大幅減少。
- 国際経営(90)は、新設2年目の2020年度以降3年連続減少。方式別では、〈一般〉(87)、〈英語外部試験利用〉(92)はいずれも前年度やや増加の反動で減少。
- 国際情報(89)は、減少。新設2年目の2020年度以降、前年度の反動による増減が継続。方式別では、〈一般〉(88)は前年度増加の反動で減少。〈英語外部試験利用〉(93)は前年度やや増加の反動でやや減少。方式別でも、新設2年目の2020年度から前年度の反動による増減が継続。
- 理工(106)は、やや増加。2018年度以降、前年度の反動による増減が継続。ただし、志願倍率は募集人員の増加があったので、16.2倍→16.6倍とほとんど変化はなかった。学科別では、10学科中増減が5学科ずつと分かれた。特に、(人間総合理工)(246)が5年連続減少の反動で2.5倍近い激増だったのが目立った。

## 〈共通テスト利用方式〉

- 理工を除いて、〈共テ単独・後期〉を除いた共通テスト利用方式と一般方式との併願時に共通テストの検定料免除という「入学検定料の特例措置」を廃止した影響が大きく、全ての学部で大幅減少となった。入試制度変更による減少なので、この影響による学部ごとの詳細には触れない。
- 文(71)は、4年連続減少で特に過去2年間は大幅減少で、2018年度対比では約6割の減少。専攻別では、14専攻中5専攻は大幅増加、他の9専攻は大幅減少と増減が分かれた。特に、(人文社会/フランス語文学文化)(170)は、前年度半減以下の反動で激増。一方で、(人文社会/社会学)(43)は2年連続大幅減少。
- 法(59)は、大幅減少で2年連続減少。学科別でも3学科全てが大幅減少で、特に、(政治)(49)は半減以下。方式別では、入学検定料の特例措置廃止の影響のなかった〈共テ単独・後期〉(114)は2年連続増加。
- 総合政策(74)は、3年連続大幅減少。学科別では、(政策科学)(60)は3年連続大幅減少。(国際政策文化)(87)は4年連続減

- 少。方式別では、入学検定料の特例措置廃止の影響のなかった〈共テ単独・後期〉(74)も大幅減少で2年連続増加。
- 経済(42)**は、60%近い大幅減少で3年連続減少。学科別では、(経済)(36)は激減で4年連続減少。他の3学科は、いずれも大幅減少。方式別では、入学検定料の特例措置廃止の影響のなかった〈共テ単独・後期〉(115)は大幅増加。
  - 商(48)**は、半減以下の大幅減少。学科・コース別では、(フリーメジャー)(26)は激減。他の3つの学科・コースはいずれも大幅減少。方式別では、入学検定料の特例措置廃止の影響のなかった〈共テ単独・後期〉(148)は大幅増加。
  - 国際経営(75)**は、3年連続大幅減少。方式別では、入学検定料の特例措置廃止の影響のなかった〈共テ単独・後期3教科〉(283)と3倍近い激増。
  - 国際情報(39)**は、激減。入学検定料の特例措置廃止の影響のなかった〈共テ単独・後期〉(129)は大幅増加。
  - 理工(71)**は、大幅減少で3年連続減少。学科別では、(人間総合理工)(127)は大幅増加だったが、他の9学科はいずれも大幅減少。方式別では、〈共テ単独・前期〉(59)は激減で志願者数は3,000人を下回った、〈共テ・併用〉(93)はやや減少。